

県内食料品製造業における原材料・エネルギー価格上昇への対応

群馬経済研究所 主任研究員 須藤一麻

調査のポイント

『食料品製造業』は、生活に欠かせない食料品を生産する重要な産業である。本稿では、まず、県内製造業に占める位置付けなどを統計データにより概観する。次に、食料品の値上げが続いているが、県内業者が原材料・エネルギー価格の上昇にどのように対応しているのか、アンケート調査結果による分析を行う。

要約

- 県内『食料品製造業』の2020年の製造品出荷額等をみると、1兆1,827億円で全国順位は13位となっている。
- 『食料品製造業』は県内製造業のなかで、製造品出荷額等や従業者数などで「輸送用機器製造業」に次ぐ規模となっており、県内経済にとって重要な産業である。
- 県内『食料品製造業』者へのアンケート結果をみると、原材料とエネルギーの価格は前年同期と比べ、ほぼ全ての企業で上昇していた。
- また、原材料・エネルギー価格の上昇に対する対策では8割以上の企業が、十分とはいえないものの、販売価格へ転嫁していた。
- 今後についても約9割の企業が価格転嫁を予定している。

【アンケート調査概要】

- **実施時期**：2023年3月下旬～4月上旬
- **調査方法**：郵送により配布、回収
- **調査対象先**：県内の『食料品製造業』437社
- **有効回答数**：98社（22.4%）
- **アンケート回答企業の主要製品と主要製品の年間販売金額の分布**

主要製品	社	主要製品	社	主要製品の年間販売金額	社
肉製品	16	豆腐・油揚げ	2	5,000万円未満	21
牛乳・乳製品	4	冷凍調理食品	1	5,000万円～1億円未満	17
水産食料品	1	そう（惣）菜	9	1億円～3億円未満	13
野菜加工・漬物	12	清涼飲料	3	3億円～10億円未満	20
調味料	2	酒類	4	10億円以上	27
精穀・製粉	4	弁当・給食	5	合 計	98
パン・菓子	22	その他	7		
めん類	6	合 計	98		